2016 年度サイエンス入門　プレ課題研究

研究計画書　グループで１枚提出

①グループ名		・自分たちにあったグループ名をつけましょう
②生徒氏名		・構成員全ての氏名を書く ・グループの代表（連絡の窓口）の生徒に〇を書きましょう。
③主な活動場所		例）物理実験室（科学館４階）
④研究テーマ		・仮称でもよいです。
⑤目的		・今のところの目的（ゴール）は何なのかをできるだけ具体的に書きましょう。
⑥実験方法		・どのような手順で実験（研究）を行うのかを書きましょう。 ・使用する実験器具や購入するもの（書籍）等をリストアップしましょう。
⑦実験計画		・まずは年末までの間の活動を考えましょう。 ・どの期間にどのような活動をするのか。 ・どのような役割が必要か。
⑧その他		

提出〆切：１０月 11 日（火）

※内容が不十分な場合は再提出です

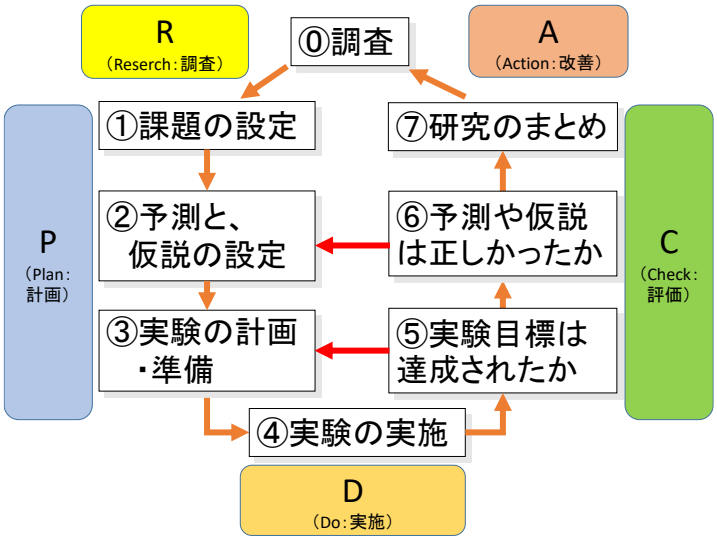
平成 28 年 9 月 27 日

研究を進める上での注意事項

1　直近の予定（全体の予定は配布した資料を見ること）

9 月 27 日(火)　　研究スタート　グループ毎に研究
10 月 4 日(火)　　グループ毎に研究
10 月 11 日（火）　研究計画書提出〆切（グループに 1 枚）　理数生物に振り替え
10 月 25 日(火)　　Science dialog　外国人外部講師による実験(科学英語 2 時間分)
11 月 8 日(火)　　グループ毎に研究
11 月 15 日(火)　　グループ毎に研究
11 月 22 日(火)　　プログレスレポート　ショートプレゼンテーション（全体）
※各グループで研究状況についての発表

2　研究を進める方法　R-PDCA サイクル



3　研究ノート（ラボノート）の作成

研究を進めていくうえで、「記録」することは非常に大切です。今回の活動はグループで行いますが、研究は個人が基本にありますし、研究は日々の積み重ねです。積み重ねていくために、記録を確実にとっておくことは非常に大切です。

そのために、研究ノートを各自で用意し、

Who（誰が）、What（何を）、When（いつ）、Where（どこで）、Why（なぜ）、How（どのように）

したのか（いわゆる「5W1H」）を記録していきます。この研究ノートには、実験を失敗したことも含めて書いていきます。普通、ボールペンを用いて記録します。

⇒各自 A4 サイズのノートを用意し、担当の先生に提出して下さい。

4　物品の購入、視察等

この活動については、SSH の補助を受けることができますが、それらの補助を受けるためには担当教員の申請が必要です。また、購入した物品はあくまで「学校所有のもの」ですのでその使用には注意してください。また、勝手な物品購入については補助することができません。物品の購入、或いは大学等へ視察しに行く場合等で SSH の補助を申請する場合は、担当の教員に相談すること（個人で購入する場合はこの限りでない）。

5　その他

年度初めに配布した「理科課題研究ガイドブック」をよく読んで、全体の進め方をイメージしたり、今までにおこなった実験を振り返ってみて自分ができることを確認しましょう。